



背筋をピンと・・・



修学旅行で京都の大仙院に行った時、姿勢を正しくするという
ことについてこんな話をしてくれました。

「姿勢を正しくするその要領は背筋を伸ばすことです。正座をしていても胡座をかいていても要領は同じです。頭のとっぺんに貯金箱のようにお金を入れる口があると考えて下さい。そこに硬貨を入れるとおしりからチャリンと落ちるように背筋を伸ばすことです。お金を入れても通じない電話や切符のでない自動販売機が時々ありますね。これと同じように、姿勢が悪いと心が不安定で、人の話もよく聞くことができないし、正しい考えも浮かんでできません。」修学旅行の生徒達は背筋を伸ばして、お坊さんの話を熱心に聞いて帰って来ました。

さて、皆さんは今、私の話を聞くために立っていますが、頭のとっぺんから硬貨を入れたらチャリンと右足と左足の間に落ちるように立っていますか？何故このような話をしたかと言うと、皆さんが心身ともに健康であると同時に、品位ある行動をとれる人になってもらいたいからです。

品位を保つ上で大切なことは、マナーを守るということです。マナーとは人に不愉快な気持ちを与えない、自分がしてほしくないことは他人にしないということです。人が話をしている時にベチヤクチャお喋りをしたり、プリント類を丸めてポイとその辺に捨てたり等々、他人が不快に思うことはしてはいけないということです。もう一つ大切なことは、自分に恥じることをしないということです。人が見ていなくても人間として恥づかしいことはしないということです。ごまかさない、嘘をつかない、人のものを隠したりしない、盗ったりしない等、人の道として当然のことですね。

約束を守る、責任を重んずる、人のために尽くすといったことも品位を保つ上で重要なことです。背筋がピンと伸びた生き方を追求していける1年間にしていきましょう。

1年生の保護者の皆さんへ

「へんな学校通信だな」と思われた方もたくさんいらっしゃると思います。本校の学校通信は全校朝礼の校長講話を中心にまとめられています。

日常の子供達に語りかける言葉から、こんな人間になって欲しい、こんな学校を創り上げていきたいという思いの一端を知って頂けたら幸いです。

これから多感な時期を迎える子供達のために、「共育」の姿勢を堅持し、共に歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

4月15日(木)の保護者会でまたお会いするのを楽しみにしております。

異動のお知らせ

瀬戸口隆司教頭	三鷹市立第七中学校へ
原 真澄先生	杉並区立宮前中学校へ
棚田 一之先生	日野市立日野第二中学校へ
吉岡 栄二先生	杉並区立神明中学校へ
高橋 一江先生	渋谷区立広尾中学校へ
森田 慎一主事	三鷹市立第一小学校へ
古田 博己教頭	新宿区立四谷中学校から
近森 有造先生	三鷹市立第五中学校から
関田 誠先生	杉並区立東田中学校から
澤藤恵理子先生	新宿区立大久保中学校から
中村 公親主事	三鷹市立高山小学校から

